
共催セミナー

[LS2] ランチョンセミナー2

問診票と同意書の管理：紙かデジタルか、今後に役立つソフトのあり方

Fri. Jun 22, 2018 11:45 AM - 12:45 PM 第3会場 (4階・国際会議室)

共催：株式会社ファインデックス

医療情報の世界では、紙の情報を電子化する流れで今日までシステムが進化してまいりました。皆さまの共通認識かと考えますが、なかなか電子化されない情報として「診療情報提供書」、「同意書」、「問診票」の3文書が大きな壁として立ちはだかっております。今後の流れを考えるとこの分野にも安全で便利な電子化の流れを作らないといけない時代になったと考えております。

そんな中で同意書や問診票は院内に閉じて管理できるためそのスタートとして適切ではないかとの考えから、先進的な医療機関様ではその取り組みが始まっております。今日のランチョンセミナーでは、先進的な試みを行っているらっしゃる病院の先生方にその研究状況に関してご発表頂きます。

皆さまの積極的なご参加をお待ち申し上げます。

[LS2-4]情報統合を推進する SDMと部門システム連携について

鈴木 英夫 (株式会社ファインデックス)

SDMでは、様々な診療データを統一した定義で保存し、医療情報システムの共通インフラとして利用できるように設計している。また診療録などの文書においては、原本性を証明できるように、記録時に電子キーを保存している。

このSDMを文書管理システムや部門システムと連携することにより、各々のシステムに必要な収集、変換、保存、検索、表示、レポート機能を集約することができる。SDMを部門システムと融合するメリットについてご説明いたします。